

2022 10
October

十三公民館だより
発行 十三公民館 ☎・FAX 91-1755

十三中学校運動会



9月3日土曜日十三中学校の令和4年度運動会が同校グラウンドで開催されました。コロナ禍の中での開催ということで来賓等の招待をなくし、生徒、教職員及び父兄の方々で開催されました。「燃やせ！十三魂 起こせ！十三革命」をテーマに、準備体操に続き各学年男女の100メートル走を皮切りに、1年生のぐるぐるサーティーン、2年生の運命のサイコロ、3年生の借り物グランプリ、綱引き、団対抗リレーがあり、最後に応援合戦で運動会を締めくくりました。



十三地区の集落別地名由来

鉢 根

鞍骨の枝村である。

越中志徵に「鉢根という地名は往古、この地から秦廣庭が杠樹八尋鉢根を献じたこと(続日本記)やそれ以前日本武尊が伊勢皇大神宮に比々羅木すなわち鉢根を献じた(倭姫世紀)ことにちなむか」と記され記されている。

また、別説に、かつて源義経主徒が奥州に落ちのびるおり、宮田(鉢根から桑の院への右側の地名、標高百九十二メートルのところに三角点がある)の高の宮に参詣し、鉢槍を一組献納、土中に埋めたので鉢を納めた山の麓という意味からこの山の根方一帯を「ホコネ」と呼ぶようになったという口伝えもある。

鉢根の地名(小字) 鉢根、鉢根尻

仏 生 寺

集落は寺中・上中・吉池・細越・上原・脇之谷内・大窪・大覚口の八垣内より成る。

地名の由来は、天平時代に建てられた御田神社にちなみ、もとは御田(三田)村と称していたが、建久年間、社寺に密教寺院仏生寺が建立され、神仏習合して金鶏山白山社と称し、仏生寺は三田社(御田社)の別当として非常に栄えたので、寺号が大字となったといわれている。

越中志徵に「御田神社、この神社は今仏生寺村の白山社にて理俗に八千堂あるいは長谷堂と呼べり。これは中昔、社僧多く居たりしころの遺称にて、金鶏山は仏生寺の山号なり。………旧名は御田神社と称し、朝廷の御田ありし地なりしが、中頃、仏生寺と言ふ寺さかんなりし故に、遂に寺号に襲われ、御田の旧名を称すること絶えたりといひ伝ふよし平井正武言へり」と記されている。

寺中の地名(小字)

池田・一の坂・大木の下・覚所・金山・神田・腰前・権茂・寺中・寺中向・広子・朱蔵・定塚・滝ノ谷
内・滝坂・竹端・立畠・棚田・塚木・殿谷内・中尾・中口・八ヶ窪・枇杷谷・又窪・松ノ木・向江川原・
向田・焼山・湯浦・鷺倉

10月の講座案内



講 座 名	曜 日	実 施 日	時 間	講 師 名
詩吟	月	3日・10日・17日・24日	10時30分~	平井 静子 先生
茶道	火	18日(保育園)	10時00分~	みどり保育園
三味線	木	13日・27日	19時30分~	山下 茂昭 先生
手芸	火	4日・11日・18日・25日	13時00分~	浦野 司 先生
バランスボール	火	4日・25日	19時00分~	
	日	30日	10時30分~	